

Art Space "O" Concert No.211

フランスヴァイオリン界の至宝

ロン＝ティボー国際ピアノコンクール優勝

ジェラルール・プーレ(Vn) & 野原みどり(P) デュオ

2017年11月19日(日)午後5時開演 アートスペース・オー



ジェラルール・プーレ Gérard POULET,violin

フランスが誇る、世界的ヴァイオリニストにして、偉大な教育者。ジェラルール・プーレは、指揮者としてヴァイオリニストであったガストン・プーレの息子として天才少年期を送る。(父親のガストンは、1917年ドビュッシーが「ヴァイオリン・ソナタ」を作曲家自身のピアノで初演の際、共演したヴァイオリニストである。)11歳でパリ国立高等音楽院に入学、2年後に首席で卒業。18歳でバガニーニ国際コンクール優勝。フランチェスカッティ、メニューイン、ミルシュテイン、とりわけ人生の師と仰ぐヘンリック・シェリング等の巨匠に師事。世界各地でソリストとして活躍。多くのオーケストラと共演を重ね、キャリアを世界中に広めた。これまでに、パリ管弦楽団、フランス国立管弦楽団、ストラスブルグ国立管弦楽団、リール、ボルドー、RAI・トリノ オーケストラ、ブラハララジオ交響楽団、リージュ・フィルハーモニック管弦楽団、北京交響楽団、シュツットガルト管弦楽団、読売交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック、仙台フィルハーモニック、大阪シンフォニカー等と共演。78歳を超えた今も「現役」の演奏家としてコンサート活動を行っており、各国の主要な国際コンクール審査員(長)に招聘されている。偉大な教育者でもあり、2003年長年教授を務めたパリ国立高等音楽院を退官後、パリ市立音楽院とエコール・ノルマル音楽院で教鞭を執り、東京芸術大学客員・招聘教授(2005年～2009年)を務め、2010年より現在は昭和音楽大学の教授を務める。多数の音楽大学(桐朋・国立・沖縄県芸・愛知県芸・フェリス・作陽・洗足など)にも招かれている。コンクールの優勝・上位入賞者を多数輩出し、日本ヴァイオリン界のレヴェルアップにも、大きく貢献している。世界中でマスタークラスを行っており、日本では、「京都フランス音楽アカデミー」「いしかわミュージック・アカデミー」「軽井沢国際音楽祭」「北海道アップビート国際音楽セミナー中札内」「河口湖音楽セミナー」等に招聘されている。1995年フランス芸術文化勲章、1999年フランス文化功労賞を受賞。日本弦楽指導者協会・日本フォーレ協会 名誉会員。音楽の友社より2009年にドビュッシーのヴァイオリン・ソナタ、2011年にサン＝サーンスの序奏とロンド・カプリチオーソ、2015年にフランクのソナタ、ラヴェルのソナタ、また2012年4月にレッスンの友社よりチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲のジェラルール・プーレ校訂を出版。日本では次のCDをリリースしている。〈クライスラーの珠玉の名曲集〉 2006年 マイスターミュージック株式会社。〈フランス3大ヴァイオリン・ソナタを弾く〉 2008年 タカギ・クラヴィア株式会社。〈ロシア・ロマン派を歌う〉 2010年 タカギ・クラヴィア株式会社。〈ピレネーの太陽〉 2010年キング・インターナショナル。〈ベートーヴェン 7、6、5番「春」〉 2013年 ALM Record コジマ録音。〈ベートーヴェン 9番「クロイツェル」、10番〉 2016年 ALM Record コジマ録音。〈グリーグ・スーク・スメタナをうたう〉 2016年 タカギ・クラヴィア株式会社。日本をこよなく愛し、日本とフランスをほぼ半々に生活している。www.gerard-poulet.com◆プーレ氏の言葉「今が人生の最高。こんなに良い生徒たちを持ったのは生涯で初めて。多くの素晴らしい友人、同僚に恵まれ、日本にいる幸せを常に感じている。日本人の心(思いやり)、丁寧さ、規律の正しさ、日本の食事が大好き。」

野原みどり Midori NOHARA,piano

東京芸術大学在学中に第56回日本音楽コンクール・ピアノ部門第1位、増沢賞・井口賞受賞。首席で卒業後、パリ、エコール・ノルマルに留学。第42回ブゾーニ国際ピアノコンクール第3位、リストエチュード賞受賞。リスト国際ピアノコンクール(ブダペスト)第2位、第23回ロン＝ティボー国際ピアノコンクール第1位受賞。J・フルネ、L・マゼール、M・ブラッソン、小澤征爾/フィルハーモニア管、ドレスデン・フィル他、国内外の指揮者、オーケストラと多数協演。また日本全国でのリサイタルや、ベルリン・フィル、ヴィルトゥオーゾ、アンサンブル・ウィーン、ベルリン・フィルのG・コセ、W・クリスト、サクソフォンのC・ドゥラングとの共演と、ソロに加え室内楽やデュオでも活躍している。2001年3月に岩手と東京において、ラヴェルピアノ独奏作品全曲演奏会、また、2002年12月に東京でメシアン「世の終わりのための四重奏曲」を中心とする室内楽演奏会を行いいずれも高い評価を得た。2005年9月には、神奈川フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会でラヴェルの2つの協奏曲を演奏し、研ぎ澄まされたテクニックと音楽性が高く評価された。2006年1月には中国の武漢交響楽団に日本人として初めて招かれ、ベートーヴェン「皇帝」を演奏。現地のマスコミにも大きく取り上げられた。2009年1月には、東京都交響楽団の定期演奏会で矢代秋雄のピアノ協奏曲を演奏し、好評を博した。2015年には、ロン＝ティボー・クレ-span国際コンクールのピアノ部門審査員として招かれた。CDはこれまでに、「ラヴェル：ピアノ作品全集I・II」「月光」など、フォンテック、アウローラ・クラシカル等より7枚が発売されている。京都市立芸術大学准教授、名古屋音楽大学客員教授。



プログラム

- S.プロコフィエフ：5つのメロディ Op.35 | A.ベルグ：ピアノソナタ No.1 Op.1
 J.ヨアヒム：ロマンス Op.2-1 | R.シュトラウス：ヴァイオリンソナタ Op.18
 C.ドビュッシー：ヴァイオリンソナタ

チケット：全自由席5000円 電話/メール予約100名 Tel.042-796-3971(水曜日) 〒194-0003 町田市小川2-28-21
 E-mail: ohashi@artspace-oh.com http://www.artspace-oh.com

ご注意：駐車場はありません。お車でお越しの方は成瀬駅南口近くに有料駐車場がありますので、ご相談ください。裏手住宅地への路上駐車は呉れぐれもなさないよう、ご協力をお願い致します。

